

マスコミ各位

令和4年11月25日(金)

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 感染症予防班

担当：加藤、嘉数

電話：098-866-2013

## 令和4年度「世界エイズデー」の実施について

このまちで暮らしている。私もあなたも。12月1日は世界エイズデー  
(キャンペーンテーマ)

「世界エイズデー(12月1日)」は、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、1988年にWHO(世界保健機関)が提唱、1996年からUNAIDS(国連合同エイズ計画)もこの活動を継承しています。国内においても、この趣旨に賛同した啓発活動が全国的に実施されます。

県内では12月1日を中心に、各種啓発活動の他、各保健所でのHIV即日検査・休日検査等を拡充して実施します。検査は予約制で一部保健所ではHIV以外に、梅毒やクラミジアの検査についても無料・匿名で受検可能です。詳しくは、各保健所へお問合せください。

(参考資料 p.7 参照)

また、県内8医療機関ではHIV等外来検査を設置しており、保健所以外でもHIV検査(有料)が実施できます。なお、11月15日(火)から12月15日(木)までの約1ヶ月間、HIV等外来検査を設置している4医療機関にて、匿名で通常よりも自己負担が少ない500円(ワンコイン)で受けることができる、HIVおよび梅毒の委託検査を期間限定で実施しています。医療機関におけるHIV等外来検査については、下記の県ワクチン・検査推進課のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/yobou/hiv aids.html>

### HIV・性感染症の感染予防(感染拡大防止)について

- HIVの感染は、性行為以外の日常的な接触では感染せず、性行為の際も、コンドームを正しく使用することで予防が可能です。
- 梅毒の感染も性行為によるものがほとんどであり、感染予防にはコンドームの使用が重要ですが、梅毒は感染力が強いため充分とは言えません。治療が可能ですので、検査により早期発見することが重要です。ただし、梅毒は再感染するため、自身とパートナーと一緒に検査と治療を受けることが大切です。
- 感染の不安のある方はぜひ検査を受けてください。ご不明な点があれば、お気軽に保健所にご相談ください。

《 参考資料内容 》

## 1 HIV／エイズ（AIDS）について [資料 p.1-上]

## 2 2021年 新規HIV感染者／エイズ患者報告数（上位10位の自治体） [資料 p.2-下]

厚生労働省エイズ動向委員会によると、2021年の沖縄県の人口10万人あたりの報告数は、HIV感染者は全国2位、エイズ患者は全国1位となっています。

## 3 2022年（11月13日時点）の県内HIV感染者／エイズ患者発生動向 [資料 p.3～6]

### ① HIV感染者／エイズ患者の届出状況

・2022年の新規報告数は、HIV感染者6例（42.9%）、エイズ患者8例（57.1%）で合計14例となっています。

・診断時に既にエイズを発症している患者の割合は、全国平均の約30%と比べて高い値を示しています。

### ② 男女別

・新規報告14例は、すべて男性です。これまでの累積報告数では、472例のうち男性448例（94.9%）、女性24例（5.1%）となっています。

### ③ 年代別

・新規報告14例の年齢は、50歳以上が5例（35.7%）と最も多く、次いで20代、30代、40代が3例ずつ（21.4%）となっています。

・HIV感染者は20～30代が中心で全体の66.8%を占めているのに対し、エイズ患者は20代以上の幅広い年代に分布し、40代以上の割合が50%を占めています。

### ④ 推定感染経路別

・新規報告14例の推定感染経路は、男性同性間の性的接触が9例（64.3%）と最も多く、異性間の性的接触が2例（14.3%）、その他・不明が3例（21.4%）となっています。

### ⑤ 保健所実施HIV抗体検査件数

・2021年の人口10万人あたりHIV抗体検査件数が全国でワースト2位となっています。

・2022年10月末時点で各保健所が実施したHIV抗体検査件数は117件で、昨年の60件に比べ増加しています。

## 4 令和4年度「世界エイズデー」に伴う検査拡充および通常時における各保健所のHIV抗体検査実施日時 [資料 p.7]

・世界エイズデーの前後は、通常実施している検査日程に加えて即日検査や休日検査等を拡充して実施します。一部保健所では梅毒やクラミジアの同時受検も可能となっています。

## 5 「梅毒について」および梅毒の患者届出状況 [資料 p.8・9]

・2021年の報告数は、1999年以降では最多となる94件（男性72件、女性22件）でした。

・2022年は、11月13日時点で103例（男性：70例、女性：33例）が報告され、2年連続で過去最多を更新しています。全国でも11,018例と過去最多を更新しています。